

南国市60周年記念市民のメッセージの紹介

南国市60周年を記念しまして市民のメッセージを広報なんこく12月号にて再募集しました。応募のあった市民からのメッセージを紹介します。

東京で学生時代の寮生活中、同級生から、「外国から電話よ！」と言われたが、心当たりはなし。電話に出ると、親からだった。外国は、南国の聞き間違い（笑）もつと外国にも南国市をアピールしたいですね！

匿名/60代・看護師

南国市は、美味しい食べ物がいっぱい！給食で、ブドウ味とヨーグルトの2層になった、「まほろばゼリー」懐かしいです！是非、復活して今の子どもたちにも食べてもらいたいです。

匿名/30代・事務

還暦の我を迎えた故郷は山に霧立つまほろばの里。南国市に帰って12年、故郷の風景は私を少女の心に戻してくれました。

P.N. みさバーノ
70代・食生活改善推進員



結婚して南国市に移り住んで20年。とても住みやすかったです。夫の退職で南国市を去りますが、本当にありがとうございました。

P.N. まちねこ/50代・主婦

南国市に嫁に来て50年。実父母もいなくなり、この地が私の故郷となりました。50年間特に大きな災害も記憶していませんがこれからはわかりません。皆で自主防災などに取り組み災害の少ない住みやすい市にしたいです。

高田勝子さん/70代・無職

委員長のコメント
元号が平成から令和に移行された昨年十月、南国市は市制施行六十周年を迎えました。南国市は記念事業として、式典をはじめ、さまざまな取り組みをしました。これらの事業は必ずや将来の南国市の新たな形成に役立つものと思えます。中でも心に残ったのは市内小中学生から応募のあった、ふるさとの誇りや未来への提言を綴った作品でした。広報委員会としても、この機会に「市民参加型の広報」という視点で幅広い世代の方から、貴重なご意見をいただきましたこと、紙面を借りてお礼申し上げます。このご意見は、広報を通じて一部ご紹介させていただきます。

広報も六十周年という節目を機に、この貴重なご意見を反映させ、市民の皆様と親しまれ、愛される広報を目指し委員一同、心機一転取り組み所存ですので、今後とも温かいご支援をお願いいたします。

シリーズ国営ほ場整備 ⑨

土地改良区の設立について

土地改良区の業務について

ほ場整備時事業を進めていくにあたり、受益地区15団地のうち13団地で土地改良区（仮称：高知南国土地改良区）を新たに設立します。新たな土地改良区では、本事業に係る事業費負担金の徴収、換地業務の清算、整備した施設（パイプライン、ポンプ場など）の維持管理、国からの促進費の受領等を行い、設立時期は令和3年1月を予定しています。

なお、稲生・久杖団地については新設の改良区には参加せず、既存の改良区で業務を行う計画です。

土地改良区にかかる費用について

土地改良区の運営に係る諸経費については、1反当たり年間約900円となります。

また、パイプラインやポンプ場を整備する団地については運営経費とは別に、整備後から電気代など維持管理経費がかかります。



■問い合わせ 農地整備課 ☎880-6586